

新年のご挨拶



二松学舎大学

父母会報

平成5年5月10日創刊
令和8年1月31日発行
(第131号)

二松学舎大学父母会
(本部・事務局)

東京都千代田区三番町6番地16
二松学舎大学学生支援課

題字は
故 観山貞広常吉先生書



謹賀新年



父母会長
武石 智実

新年あけましておめでとうございます。
会員の皆様におかれましては、年の瀬の慌たしさも落ち着き、様々な思いの中、新年をお迎えのことと存じます。昨年中は父母会活動にたくさんのご協力、ご理解を賜り、心より感謝申し上げます。数年のコロナ自粛から解放され手探りの中で活動してまいりましたが、ようやく全行事が再開され、あらためて皆様と距離の近い活動を具体的に模索し、実現する余裕が出てきたように感じております。

特に春学期の地区別父母懇談会では、多くの方にご参加いただきました。例年、大学からの報告が主となっておりましたが、「懇談会と銘打っているからには、父母会役員とご来場いただいた保証人の皆様の間でも懇談させていただきたい」とお願いし、初の試みとなる軽食を交えながら、保証人の皆様同士、また役

員と皆様がお話しする機会を設けることができました。昨年まではWEB上でのお知らせのみだったものを、葉書でお知らせする方法に変更したことで開催を知っていただけたのか、百名を超える方のご参加をいただくことができました。初開催ということで不手際もございましたが、直接お話しをする中でご意見、ご要望をうかがうことができたことは、役員にとっても新たな発見につながりました。

また、秋学期の創縁祭無料喫茶室は、外壁工事の影響（十三階の景色が遮断される懸念）を極力回避することができ、来場者の方々に東京を見渡せる憩いの場を提供することができたと思います。喫茶室は今年で三年目となり、創縁祭の定番となったのか毎年いらしてくださるリピーターの方も多数おられ、おかげさまで大盛況のうちに終わることができました。在学生達と同じ目線で学園祭を運営できるため、役員一同、学生に戻ったような気持ちで楽しみながら活動することができました。

さて、本年の干支は「丙午」で、勢いとエネルギーに満ちて活動的になると言われているそうです。来年二〇二七年には本学は創立一五〇周年を迎えます。そんな節目の年を目前に、学生には是非たくさんの事にチャレンジしていただきたいと願います。

そして、そんなチャレンジする学生の一助となるべく、父母会として何ができるのか、何を求められているのかを考えながら、本年も役員一丸となって活動して参ります。

会員の皆様には引き続き、あたたかいご支援をいただけますよう、よろしくお願い申し上げます。

謹んで新年のご挨拶を申し上げます。皆様におかれましては、日頃より本学の教育研究活動に多大なるご支援を賜り、心より感謝申し上げます。

二〇二六年は、我が国の高等教育、特に私立学校経営にとって極めて厳しい未来を展望する中での年明けとなりました。中央教育審議会の「知の総和」答申等でも繰り返し指摘されている通り、「十八歳人口の崖」と称される二〇四〇年問題は、もはや遠い未来の課題ではなく、予想を上回る速度で現実化しつつあります。加えて、生成AIの急速な発展と浸透は、知識基盤社会のあり方を根本から変え、大学教育も大きな変革期を迎えています。

創立一五〇周年を来年に控える今、この社会における未曾有の変革は、我々に「二松学舎とは何者か」という根源的な問いを突きつけているような気がしてなりません。

歴史的岐路ともいえる今こそ「創立の原点」に立ち返る必要があります。一八七七年、創立者・三島中洲が「西欧文化の摂取に汲々としている」激動の時代に対し、あえて「東洋の精神に基づく人格教育」を掲げた、その「カウターの精神」とも言えるDNAこそが、現代の課題への解答を導き出す原点であり、最大の原動力となるはず

です。生成AI等テクノロジーが人間性を希薄化させる恐れのある時代において、本学が貫いてきた「人間中心の教育」

は、最も強力かつ独自の戦略的資産です。この資産を核に、検討を開始した次期長期ビジョン「N2040Plan」を見据え、未来への変革を実行します。

その取り組みの第一は、これまで築き上げてきた独自の資産をさらに伸ばすことです。AIが情報処理や分析で人間を凌駕しつつある現代だからこそ、本質を見抜く「国語力」教育、対話による「少人数教育」、そして「人としていかに生きるか」を問う「人文社会科

です。

そのほかに検討事項として挙がっているテーマとして、本学が誇る貴重な漢籍・和書といった学術資産を、最新技術で社会に公開する「デジタル・ヒューマニティーズ(DH)の推進」、渋沢栄一の「道徳経済合一」思想を実装する「社会人向け教育(MBA等)の本格展開」も検討し、社会の新たなニーズに 대응していく所存です。

大学に加え、両附属校においても『論

年頭所感

歴史的岐路と二松学舎の使命

学校法人二松学舎 理事長 水戸英則



学の叡智」は、AIには代替できない倫理観や創造性の基盤として一層価値を高めます。

第二に、未来への投資として「足りない資産」の創造です。国の文理横断教育方針にも合致する、本学独自の人文知と数理・データサイエンス・AIを融合させた「新しい文理融合学部」の創設検討は、「人文知に導かれたデータサイエンス」として、現代社会の人材ミスマッチ解消に応える喫緊の課題

法人としては、教育研究活動を支える持続可能な経営基盤確立に尽力していきます。

第一に、改正私立学校法に対応した「攻めのガバナンス体制」を更に推進します。教職員を最大の資産と考える「人的資本経営」を実践し、挑戦を賞賛する組織文化へ変革します。

第二に、財務基盤の強化です。十八歳人口急減を見据え、学費依存度低減のため収入多角化を進めます。戦略的ファンドレイジング、資産運用の高度化、リカレント教育(MBAも計画)の事業化を新たな収益源とし、得られた資源を未来へ再配分することで財務基盤の更なる向上を図ります。

本学のこれからの使命は、AIと人間が協働する未来において、異なる多様な知見を融合させて新たな価値を創造する「共創知」を育み、ひいては一人ひとりの人間と社会全体の持続的な幸福である「ウェルビーイング」の実現に貢献することにあります。

創立一五〇周年が目前の本年、教職員一同、厳しい環境を乗り越え、「いつも選ばれる大学・高等学校・中学校」としての地位確立に向け、皆様と共に着実に歩んでまいります。

引き続き皆様のお力添えを切にお願い申し上げます。新年のご挨拶といたします。

何卒よろしくお願い申し上げます。

謹んで新年のお慶びを申し上げます。今年も皆様にとつて良い一年となることを祈念いたします。

先日、日本の憲政史上初めて女性の首相が誕生しましたが、その前後から荒唐無稽なさまざまな主張を含む排外的な主張が強まっており、それらに対する有権者の支持も高まりを見せています。本学は伝統的に国際交流に力を入れており、特に中国とは学問的にも人的にも深い関係を築いて参りました。そのほか、台湾や韓国などの大学とも交流協定を結んでおり、現在も多くの学生が相互に留学しています。今後も、政治的な動きに関わらず国際交流を積極的に続けて参ります。また留学費用の高騰が続く英語圏の留学先として、欧米に比べその費用負担が少ないマレーシアの主要大学との協定が新たに結ばれることもお知らせします。

さて、先述の排外主義的な動きの原因には、もちろん短期的には外国人流入の増大や周辺諸国との関係悪化が影響していますが、より根本的には保守主義的な人々の危機意識が高まっている点が指摘できます。「いつかの時代のどこかの場所に理想郷がある(あった)はず」という考えをユートピアニズムと言います。未来に平等社会の実現を夢見るような進歩主義的・社会主義的な場合はよく知られていると思いますが、保守主義的な人々が過去のある時点に理想郷を見るところという復古主義的なユートピアニズムも存在します。これは、彼らが自分たちの住んでいる国が衰退していると感じる場合に、強く現れるという傾向があります。簡単にいうと「昔は良かった」という考えなのです。多くの場合、「外国などから移民や思想などが入ってきていない、汚されていない純粋な日本だった頃」は素晴らしいもので、今は……というナショナリズム、ひいては排

想郷を見るところという復古主義的なユートピアニズムも存在します。これは、彼らが自分たちの住んでいる国が衰退していると感じる場合に、強く現れるという傾向があります。簡単にいうと「昔は良かった」という考えなのです。多くの場合、「外国などから移民や思想などが入ってきていない、汚されていない純粋な日本だった頃」は素晴らしいもので、今は……というナショナリズム、ひいては排



年頭所感

新年の誓い

学長 佐藤 晋

外主義と結びつく傾向があります。そして、こうした認識から外国人を追い返そうとか、外国生まれの宗教や思想を弾圧しようという政治主張につながっていくことがしばしば見られます。

昨年はちょうど昭和百年の年にあたっていました。昭和戦前期には先述したような復古主義的なユートピアニズムが暴力と結びつき、何度かの軍事的反乱を引き起こしました。

しかし、太平洋戦争の敗戦と占領を経て戦後の日本では進歩主義的なユートピアニズムに騙されることなく、近い将来の幸福を信じて国民の多くが地道に努力を重ねる中で経済大国の地位を獲得しました。しかし、一九九〇年代初頭のバブル崩壊以降の長期的不況や、隣国中国の急速な経済発展に伴う国際社会への台頭などの諸情勢により、多くの日本人には「衰退する日本」という観念が生

じてきました。こうした未来に希望が持てない中で、過去への憧憬に耽るという気持ちも理解できなくはありません。実際、少子高齢化は日本の将来に暗い影を落としつつあります。

しかし、AIの発展、そのロボットへの適用などにより労働者不足は解消する見込みも十分あります。また、生身のマンパワーを必要とする分野においては適度に受け入れた外国人労働者の存在は必要不可欠です。何よ

りも海外からの人材・技術・アイデアなどを排除した「鎖国状態」では日本の発展などあり得ないことは、昭和戦前期の過去の歴史が証明していると思います。さて、私個人の話になりますが、私は昭和生まれの現在五十年代後半ですが持久力においても筋力においても過去最高の状態で、今後もしばらくはマラソンタイム他の自己記録を更新出来ると感じています。そうなると将来への悲観も過去への憧憬も生じません。今の努力を続けられれば、当然のごとく今後とも良くなるであろうと思えるからです。

このことを教育の話に置き替えると、日本の教育機関の使命は若者に未来への希望を抱かせることに尽きると言っていると思います。もし仮に今のような社会情勢が続くとしても、自分自身が大学で修得した知識や汎用的能力を駆使すれば、国内外を問わずより良い仕事や生活を享受できるという意識を醸成し、そうした意識の下で各学生が学修に取り組むことで実際にそうした能力を身に付けられるよう教授し、社会に送り出すということです。

本学としても、日頃の学修の場でそれぞれの学生が小さな成功体験を積み重ね、そうした経験を経て自身の日々の成長を実感し、今後とも努力を続けられれば常に成長していけるという体感を、学生が得られるように努めたいと思います。

2025 創縁祭報告

実施日：2025年11月2日・3日

創縁祭2025を終えて

学園祭実行委員会 委員長
国際政治経済学部 国際政治経済学科
三年 田嶋詩穂

十一月二日(日)・三日(月・祝)の二日間にわたり、創縁祭2025を開催いたしました。今年度の創縁祭は、外壁工事の影響により中庭での模擬店を開催出来ませんでした。が、昨年度よりも多くの方々にご来場いただきました。創縁祭が無事に終了し、学園祭実行委員会一同大変ありがたく存じます。

創縁祭では、多くの来場者様が賑やかにお過ごしいただき大変嬉しく思いました。また、どの団体も活気にあふれ、活動の成果を存分に披露し創縁祭を大いに盛り上げてくれました。さらに、オープンキャンパスにお越しくださった方々も創縁祭に足を運んでくださり、二松学舎大学とご縁が結びついたことを実感いたしました。

これも、創縁祭にお越しくくださった来場者様や参加団体はもちろんのこと、ここまで私達にお力添え賜りました父母会・松苓会・学生支援課並びに教職員の皆様のおかげでございます。

皆様のご協力があったからこそ私も無事に委員長を務めることが出来ました。心より感謝申し上げます。また来年度の役員につきましても、引き続きお力添え賜れますよう、何卒よろしくお願い申し上げます。



創縁祭2025無事終了！ ありがとうございました！

文学部 歴史文化学科

三年 高橋唯人

私が所属するBlueBirdは、今回の創縁祭でポップコーンを販売いたしました。模擬店は校舎の外壁工事の関係で室内開催にはなりましたが、それでも多くの方々に乗り越えただき、大変ありがたい気持ちでいっぱいです。買い出しや呼び込みなど、サークルの中での仕事も多く、ポップコーンを専用の機械で作ることも初めてで、慣れるまでに苦戦はしましたが、サークル員の中で役割分担をしつつ、私自身も楽しみながら何とか完売させたときの達成感は格別でした。またお渡しした際のお客様の笑顔や、何度もリピート買いをしてくれたお客様の表情を思い出すと、頑張った分だけ感動も大きいです。参加してくれたBlueBirdの皆さん、あらためて感謝したいです！また、サークル員だけでなく、他のサークルや学生会、父母会の方々、そして支えてくれた両親など、多くの方の協力がなければ決して成功はできなかったと考えております。ご来場してくださった方々、そして協力してくれた仲間のおかげで、大学生活の忘れられない思い出の一つになりました。



父母会無料喫茶室

谷 法子

創縁祭2025のテーマである「秋麗」のごとく、秋の澄んだ空気が穏やかに心地よい二日間。

父母会無料喫茶室を無事運営することができ、役員一同大変嬉しく思っております。

本年度の父母会喫茶室においても、ご来場頂きました皆さまに心地よくくつろげる時間を過ごしていただけるよう、前日から準備をいたしました。

当日は役員一同、同じポロシャツを着用のもと、来場された学生の皆さまとお話ししたり、普段お会いできない保証人様にご挨拶したりすることができました。また、毎年好評いただいております須藤学務局長のコーヒーをおかわりしてくださる方も数多くいらつしやり、嬉しく、楽しく笑顔で喫茶室を運営することができました。

加えて、テーブルに置かれたアンケートを大勢の方が記入してくださり、温かく優しいお言葉を沢山いただくことができました。本当に感謝の気持ちでいっぱいです。

これも創縁祭の父母会無料喫茶室にお越しくださった学生、保証人、教職員の皆さま、学園祭実行委員会の方々のおかげでございます。ありがとうございます。

これからも父母会活動へのご協力、何卒よろしくお願い申し上げます。

創縁祭 父母会 無料 喫茶室





国際交流懇親会

実施日：2025年11月3日



本年度も、留学生と父母会役員との懇親会を行いました。父母会では、国際交流センターが主催する活動への助成を行うことで、母国を離れ日本で学びに励む留学生を応援しています。懇親会には多くの留学生が参加し、父母会役員とのひと時の交流を楽しんでいたきました。今回は、懇親会に参加した二名の留学生に、以下の質問事項について、インタビューを行いました。

質問事項

- ① 今日のパーティーでは、どんなことが楽しかったですか。
- ② 父母会の人たちの印象はどうでしたか。
- ③ 二松学舎大学に入学して、一番印象に残っているできごとは何ですか。
- ④ 二松学舎大学では、あなたはどんなことを頑張っていますか。
- ⑤ おもしろい授業はありますか。なぜ、そのように感じましたか。
- ⑥ これからの目標を教えてください。

楊 育衡 (ヨウ イクコウ)

① みんな親切で、色々話しました。食べ物もとてもおいしかったです。全体的なパーティーの雰囲気はとても楽しかったです。私は初めてこの店に来てイタリア料理を食べましたが、店の雰囲気はとても高級感がありました。とても幸せを感じました。みんなで美味しいイタリア料理を食べながら、すごくホッとした時間を過ごすことができて、大変うれしく思っております。

② みんなとても親切で、優しい人でした。最初は少し緊張していましたが、だんだんみんなとのコミュニケーションも増えました。例えば、趣味と好きな料理とかの話題は盛り上がっていました。皆さんにおすすめの観光スポットと中国の美味しい食べ物を紹介しました。

③ 二松学舎大学の先生は、熱心で専門性の高い方ばかりです。少人数制なので距離が近く、気になったことはすぐに質問することができます。授

業の最後に質問の時間が設けられていることも多く、先生と学生とのやり取りからも学ぶことができます。都心にあるキャンパスは、どこへ行くにも便利です。観光や文化について研究しているので、実地調査を行う際に移動がしやすく魅力的です。前はアニメ『らき☆すた』の聖地巡礼についての実地調査を行いました。④ 地域行事に関する様々なボランティア活動を頑張っています。去年は、千代田区の灯籠流しの案内係と、今年の春に千代田区桜祭りのプロジェクトを行いました。その経験から、日本語のコミュニケーション能力が向上し、私も日本社会によく溶け込むことができました。

⑤ 私は観光が好きなので、観光文化論の講義が面白いと思います。授業では、観光社会学の概念を用いて具体的な事例分析を行います。具体的に言うと、アニメ聖地巡礼と地域活性化の関係の具体的な事例分析と観光のまなざしなどです。このような授



業を通して、様々な観光現象の背後にある原因に対する理解をより深めることができ、その後の修士論文執筆の基礎と土台を提供することもできます。

⑥ 中国から日本にやってきて四年経ちました。日本の観光地には魅力的なところがたくさんあります。大学院での学びをこれからは活かせたらうれしいです。今、自分は日本語と英語ができて、自分の専門知識と語学力を使って社会に少し貢献したいです。最後に学生生活を有意義に過ごして、留学生活に完璧なピリオドを打ちたいです。

李 瑩 (リ エイ)

① イタリア料理を楽しみながら、海外留学の経験がある日本人学生と話せたのがとても面白かった。海外生活のエピソードを聞き、お互いの経験を共有できたことが楽しかった。

② とても親切で、留学生の生活を気にかけてくれる方ばかりだと感じた。日本で困っていることがないか声をかけてくださり、楽しい場所もたくさん教えてくれた。

③ 国際交流センターの先生たちが、留学生に寄り添って丁寧に指導してくださるところが、特に印象に残っている。

④ 奨学金の取得を目指して一生懸命勉強し、日本語を上達させるために日本人学生や先生と積極的に会話するよう心掛けています。

⑤ 駒村先生の「グローバル企業論」が特に面白い。世界的に有名な企業の事例が学べ、視野が広がるところに魅力を感じている。

⑥ 日本語力をさらに磨き、日本社会に自然に溶け込めるようになりたい。無事に卒業し、将来は国際的に活躍できる人材を目指して努力を続けていくつもりです。



2025年度 二松学舎大学父母会成長支援型（資格・能力取得育英）奨学金

父母会では、修学環境の支援をするために、奨学金を支給しています。公立学校教員採用試験や公務員試験、指定された資格試験の合格者などが対象です。例年、五十名以上の学生が受給していますが、今回、代表して二名の学生に資格取得を目指したきっかけや今後の展望を寄稿していただきました。



服部 貴也

文学部 国際日本・中国学科
【千葉・中学校国語】

「合格までの道と目指す教員像」
私が中学校の国語教員を目指し始めたのは、二松学舎大学に入ってからでした。大学生になるまでの私は自分が教員になることなど一度も考えたことはなく、教職課程の履修を決めたのも、将来の選択肢を広げるためでした。しかし、本学の授業を通して、いじめや児童虐待など、さまざまな問題を抱える児童生徒のために自分ができることは何かないだろうか、そう考えるようになったのが教員を志したきっかけです。

そんな私が千葉県・千葉市公立学校教員採用候補者選考に合格できたのは、大きく分けて二つの理由があります。一つ目は、本学の対策講座に参加したこと

です。私は三年次に「ちば夢チヤレンジ特別選考」を通過しており、第一次選考の筆記試験は免除になっていましたが、「集団討論」と第二次選考の「個別面接」、「模擬授業」はどれも一人で対策を進めるには限界があったため、そのような講座が開講されていたのは非常にありがたかったです。模擬面接や模擬授業ではとにかく失敗を恐れず、「最初からうまくできないのは当たり前。一つ一つ弱点を克服していけばいい。」と自分に言い聞かせながら、日々取り組んでいました。その中で、講師の方からいただいたアドバイスはもちろん、他の学生の模擬面接や模擬授業の様子を観察できたのも、合格に向けて大いに役立ちました。

そして二つ目は、同じ目標を持つ仲間がそばにいてくれたことです。教員採用選考の直前だけでなく、実習期間中など大変な時期もありましたが、いつも励まし合い、高め合える仲間がいてくれたからこそ、私は四年間この大学で学び、成長し続けることができました。そしてそれは、教員になってからも同じだと思っています。「千葉県・千葉市が求める教員像」にもある「組織の一員としての責任感と協調性を持ち、互いに高め合う教員」を目指して、教員や生徒、

保護者・地域の方との関わり合いを大切にし、周りから信頼される人物になれるよう、これからも励んでいきます。



和久井 萌夏

文学部 国文学科
【東京都・中高共通国語】

「教員採用選考を振り返って」

令和七年実施東京都公立学校教員採用候補者選考に中高共通国語で無事に合格しました。合格が決まるまでは、大学で実施される小論文・面接対策講座に通いつめ、自身の実力不足を思い知っては悔し涙を流し、心身共に苦しい毎日でした。

教員採用選考の対策について、私の場合大学三年生前倒し選考を利用しました。教職教養・専門教養は、東京都の過去問を何度も解いたことで、両方八割弱の点数で無事に選考通過出来ました。小論文は、先生方に何度も添削してもらうことで自然と書けるようになりました。二次試験の個人面接は、受験者同士で面接練習を何度も行ったことで、新たな気付きを得ることが出来ました。面接当日は練習の成果もあり、自分のできる最大限を出し切れたと思います。

合格に至るまで私一人の努力だけではなく、大学のサポート

がとても大きかったと感じています。本学教職課程センターの方々には、手厚くサポートをしていただきました。特に国語科教員養成特別コースの存在には、とてもお世話になりました。ここでの模擬授業や実務研修の経験は、今後現場に出てからも役立つと思います。面接練習や集団討論も練習出来たので、入って良かったと心から思います。

最後に、私の教職に対する思いを書きます。私は学校嫌いな子供でした。学校に行って楽しいと思うこともありましたが、嫌な事ばかりで不登校になったこともあります。先生になる人は大半が「学校が好きだった人」だと、教職課程を学んでいる今も感じます。学校に行けなかった私に教員は務まるのか、と常に疑問に思っていました。教育実習で元担任の先生に、「色々な経験をしたらからこそ、生徒の心に寄り添える」と言われ、どの先生も生徒の誰かにとっては需要があることに、改めて気が付きました。東京都は多様な生徒が通う学校（通信制やエンカレツジスクールなど）があります。様々な環境で生徒の心に寄り添う経験を積み、人として、教員として自身も成長しながら、これからの東京都の教育に携わっていきたいと思います。

事務局からのお知らせ

●トレルナ稼働状況について

本学に在籍するすべての女子学生の衛生面の向上およびサービス向上の一環として、5月19日より、生理用ナプキンが無償で供給されるシステム「トレルナ」を設置しております。簡単なスマホ操作で利用できるため、設置以来多くの女子学生の皆さんにご利用いただいています。

5月から11月までの稼働状況は以下のとおりです。

トレルナ稼働状況

5月	193枚	9月	159枚
6月	408枚	10月	309枚
7月	398枚	11月	277枚
8月	55枚		

学生の皆さんが安心して学業に励める環境づくりのため、今後もサービスの充実に努めてまいります。

引き続き、保証人の皆さまのご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。



卒業アルバム 掲載素材募集!!

卒業アルバムのフリーページに掲載する 写真・画像を募集します!!

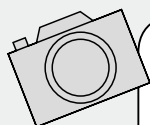
楽しかった大学生活の思い出を卒業アルバムの1ページに残しませんか？
皆さんの写真をたくさん載せたいと思っていますので、是非、写真・画像の提供をお願いいたします（ゼミ・サークル・その他も可です）。

提出先： ★4号館 1階 事務室
★1号館 3階 学生支援課
★データ提出用Googleフォーム

<https://docs.google.com/forms/d/e/1FAIpQLSeNjzjPCrgeZvGH5MQHAMX7UBehggpwruwhrOUvOpKF1qVABQ/viewform?usp=dialog>

1名につき3枚まで（データ可）

締 切： **2026年 2月20日（金）まで**



- ・肖像権の関係上、必ず写真に映っている方に了承を取ってください。
 - ・写真・画像の返却はできませんので、ご了承ください。
 - ・カラーコピーは印刷がきれいに出来ないため不可となっております。
 - ・デジタルデータでの提出も可能です。
 - ・1名につき3枚まで。
- ※ご提供の素材は、誌面の都合により必ずしも掲載（使用）される訳ではございません。ご了承ください。

保証人の皆様から
も、学生の皆様へ
ご紹介ください！



二松学舎大学学生支援課

大学生の生活を見てみると、「なぜそんなことをしたの?」「と思う場面がありませんか。そんな行動を、私たちはどのように見ることができそうでしょうか。連絡がすぐに返ってこない、急に進路を変える、夜型になる、必要な手続きが滞る…。間近で見て心配が募ると、私たちはつい「良くない」「普通はこうでしょ」と注意したくなるかもしれません。これは社会の規範を基準にした見方です。

心理学的な説明を使って「うつなのでは」「自己管理が難しいのかも」と理解しようとする見方もあります。そのような見方は背景の理解に役立つこともありませんが、ラベルが先に立つと、その人がラベル通りの存在に見えてきてしまう(そうとしか見えなくなってしまう)おそれがあります。

そこで、もう一つの見方として「目的のある行動」と見る方法があります。何かをしようとしているのだと捉えるのです。この見方をとると、一般的に望ましくない行動や理解しづらい行動であっ

学生相談室 だより 131

カウンセラー 奥野 光

でも、「この人は何をしようとしているのだろうか?」「何のためにそうしたのだろうか?」と、好奇心をもって知ろうとすることができます。たとえば、返信がすぐに来ないのは「関係を断とうとしている」のではなく、「失敗しないよう慎重に言葉を探している」のかもしれません。夜型の背景に

「自分のペースで集中したい」という意図が隠れている可能性もあります。

ここで大切なのは、想像で決めつけず、本人に聞いてみることです。「そうすることにしたのにはどんな気持ちがあったの?」「うまくいかなかったとしても、本当はどうなることを望んでいたの?」と、否定も批判もせずシンプルに聞いてみると、意図や価値観、願いを伝えてくれるかもしれません。目的や願い、大切にしていてことを通して相手を知ろうとする姿勢は、大変なときにも、大切な人としつかり話し合いたい、助け合う上で力になってくれるのではないのでしょうか。

インターンシップ参加申込みや採用選考時にはエントリーシートの書類提出が求められる。企業ことのオリジナルの質問など学生の内面や人柄などを引き出す内容となっている。主に自己PRや志望動機を書くことになるが、キャリアセンターでは提出書類の添削など毎日のようにキャリア相談として添削や提案のサポートをしている。本

アー リタ ン キ セ だ 81

キャリアセンター事務課 二宮 信二
(国家資格キャリアコンサルタント)

見出したりする際には邪魔になってしまう部分があることも否めない。学生にはそこも理解した上で、AIを上手く活用して欲しいと思う。巷ではチャットGPTをチャッピーと呼び、親や友人に相談しなくてもチャッピーに相談すれば悩みが解決しているようだ。しかも彼らには時間感覚は無く、いつでも相談にのつ

てくれるし優しく決して拒否しない。面接というイベントがいつか採用選考から無くなる日がくるかもしれないが、現状の面接という人が人を見極めるという事が尊重される限り、学生には最後は自分の言葉で自分の事を表現して欲しいと願う。その為の助けであれば我々は学生に寄り添い

サポートをし続けるし、そうあり続けて欲しいと切に願う。いつまでも血の通ったサポートをし続けたいと願う私の気持ちをチャッピー君たちはどう理解してくれるのだろうか? その前に、上記の文章の添削をお願いするかな。

がにこれだけ利用されていると、我々が読むと一目でそれとわかってしまう。ということは、採用担当者が読んでも同じく気づいているはずだ。確かにAIは調べ物や資料をまとめたりするには大変便利なツールであることは間違いないし、AIを否定するつもりは毛頭ない。但し、各学生の人柄を見極めたり、個性を

教学事務部から

◎2025年度学位記授与式のご案内

2025年度学位記授与式については、下記のとおり挙行いたします。

日時：2026年3月17日（火）

10：55 卒業生・修了生集合

11：15 開式

12：35 閉式（予定）

※式典終了後、会場内にて学位記授与を実施する予定です。



会場：文京シビックホール 大ホール

東京都文京区春日1-16-21 文京シビックセンター内

東京メトロ丸ノ内線・南北線 後楽園駅（5出入口）直結

都営地下鉄三田線・大江戸線 春日駅（文京シビックセンター連絡口）直結

JR中央・総武線

水道橋駅（東口）徒歩約10分

※ご家族の方のご参加は、卒業・修了生1名につき1名までとさせていただきます。

なお、式典の様子はオンライン配信する予定です。

※今年度も父母会主催の卒業記念パーティーを開催する予定です（下記）。

※今後、新型コロナウイルス感染症の急拡大等、やむを得ない事態が生じた場合は、実施方法を変更する場合がございます。

その場合、NishoUNIPA保証人ポータル等で周知いたします。

卒業記念パーティーの開催について

父母会では、卒業生の皆様のご卒業を祝し、また、在学中お世話になった教職員の皆様への感謝の気持ちを込めて、卒業記念パーティーを開催しています。卒業生の皆さんは是非ご出席願います。内容は次のとおりです。

【日時】

二〇二六年三月十七日（火）
午後二時～四時（受付 午後一時三十分～）

【会場】

東京ドームホテル地下一階「天空」
〒一〇二八五六二
東京都文京区後楽一三六一
学位記授与式会場 文京シビックホールから
徒歩約一〇分

【次第】

- 一. 開会
- 二. 挨拶
- 三. 乾杯
- 四. 歓談・ゼミ写真撮影
- 五. 閉会

○御父母など保証人の方や卒業生以外の学生は、参加できません。

○卒業生の皆さんには、NishoUNIPAでご案内を配信しました。当日はそちらに添付されていた「画像」を受付で提示して下さい。

○歓談の時間を利用してゼミ毎の集合写真撮影時間を設けています。時間に制約がありますので、あらかじめ撮影順番を決めております。ご協力ください。

○会場に、お着替え室はございませんが、クロークをご用意しております。



二松学舎グッズのご紹介

伝統の織物の町「桐生」の工房で仕上げられた、シルク100%の二松学舎オリジナルネクタイをご紹介します。桐生織が魅せる上質な光沢と滑らかな質感は、就職活動や式典などのフォーマルシーンに最適です。本学イメージカラーのグリーンとブルーの2色を取り揃えており、身に着けるだけで誇りを感じる一品です。大切な場面で、あなたの第一印象を凛とした佇まいにしませんか。

詳しくはオンラインショップをご覧ください。

商 品 名：オリジナルネクタイ

販売価格：3,800円（税込）



【お問合せ先】二松学舎サービス株式会社

TEL：03-3261-6921 MAIL：info@nishogakusha-s.co.jp

卒業アルバム個人写真の提出のお願い

卒業アルバムは父母会より全卒業生に贈呈します。卒業アルバム用の個人写真撮影は昨年11月から12月に大学で行っていましたが、撮影が出来なかった方は、2月上旬の卒論（卒研）面接試験の時期にも予定しております。

2月上旬の撮影も参加が難しい場合、データもしくは郵送での提出を受け付けます。下記の要領に従って、ご提出ください。

再度、ご家庭でも学生本人にお声掛けください。

※ご提出いただけない場合は、学生氏名のみの掲載となりますことをご承知ください。

○個人写真のデータ提出をする場合の注意点

■スマホやデジカメなど撮影に使用する機種の「最大データ（撮影）サイズ」で撮影／保存してください（データ形式は必ずjpgにて）

※iPhoneで撮影する場合は、設定アプリで「カメラ」→「フォーマット」→「互換性優先」を選択してください。

■スナップ写真や集合写真などからの抜粋加工は承ることができませんのでご注意ください。

■背景は無地の明るい部屋で。「証明写真」のような仕上がりをイメージに、必ず頭上に隙間をあげ、上半身は両肩、胸部辺りまで入れてください

■お送り頂く画像データサイズはメール添付の共用範囲内で大きめで（目安データサイズ 1～3メガバイト程度）。

※ただしこれより大きすぎるとメール送受信できませんのでご注意ください

■写真データは全体のバランスの中で補正していきますので、提出時は無加工のデータにてお願いします。

■メールの件名は、「卒アル個人写真」を頭に付けて、学生番号・氏名を必ず記載して下さい。

例：「卒アル個人写真222A0000二松花子」

データ提出先：sotsuaru@nishogakusha-u.ac.jp

○証明写真を郵送で提出する場合

■写真サイズ タテ5センチ×ヨコ4センチ

（右記の例を参考にしてください）

※写真の裏面に必ず学生番号・氏名を記入して下さい。

郵送先：102-0074 東京都千代田区九段南2-4-14

二松学舎大学 四号館1階事務室 卒業アルバム係

提出締切日：2026年2月28日（土）必着（データ・郵送共通）

【卒業アルバムの送付について（ご案内）】

卒業アルバムは、保証人（実家）宛に送付します。

卒業後、保証人住所を変更する予定がある場合には必ず学生支援課へ報告してください。



顔の上に空き+左右は両肩が入りきればベスト。
さらに下は胸まで写ったもの

編集後記

父母会報一三一号をお読みいただきまして、ありがとうございます。

この号でご報告した創縁祭で、私は各発表団体を回り、活動する様子を撮影させていただきました。書道、落語、狂言など伝統文化を代々引き継ぎ活動している団体もあり、アカペラ、吹奏楽、バンド、演劇などの発表団体もあり、写真集やイラスト集、文集、CDなどを自主製作している団体もありました。多彩な活動をしている学生たちのパワーを実感し、とても興味深かったです。

創縁祭後には、国際交流懇親会に参加させていただきました。中国からの留学生の方とアメリカへ短期留学された三年生の方と、日本と中国、アメリカとの習慣・文化の違いについて会話が弾みました。私は学生の時に留学したいと思いつつ一歩踏み出せなかったもので、やりたいことはできるだけその時にやるほうがよいと思っています。八ページにありますように、父母会から留学や資格取得などに奨学金を支給していますので、学生の皆さんには積極的にチャレンジしていただきたいです。

本年も、保証人の皆様の代表として、学生たちを陰ながら支援していきたいと思います。